事業事前評価表

国際協力機構
東南アジア・大洋州部東南アジア第四課

１．案件名（国名）

国名：ミャンマー連邦共和国
案件名：カヤー州ロイコー総合病院整備計画
(The Project for Improving Loikaw General Hospital in Kayah State)

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの現状と課題

ミャンマー連邦共和国（以下、「ミャンマー国」という。）の保健指標は、近隣諸国と比較して、予防接種カバー率や産前健診受診率が比較的良好な一方で、五歳未満児死亡率(出生対千人 62、2011 年。UNICEF)と妊産婦死亡率(出生対 10 万人、2010 年。UNICEF)が高く、HIV、マラリア、結核等の感染症の有病率も高いレベルにある。他方、疾病構造は、途上国において高い割合を示す感染症、周産期疾患に加え、疾病構造転換後の開発国に特徴的な生活習慣病、社会経済開発に伴う外傷が上位にある。このことから、ミャンマー国は疾病の構造転換期にあり、途上国・開発国がそれぞれ抱える保健問題に対応しなければならない二重の負荷状況に直面しているといえる。かかる状況の下、ミャンマー国は国家保健計画（National Health Plan 2011-2016）において、病院ケアプログラムを策定し、病院パフォーマンス指標の改善、病院における死亡率の低減等に取り組んでいる。

ミャンマー国の保健・医療施設のレファラル体制は、「国立病院」、「州/地域の総合病院」、「郡病院、タウンシップ病院」、「ステーション病院」及び「地域保健所」となっており、タウンシップ以下の保健施設において基礎保健サービス（一次医療及び二次医療）、病院（都市部のタウンシップ病院含む）において治療サービス（二次医療及び三次医療）を提供している。このうち、少数民族が居住する州の総合病院は、地域の中核病院として重要な役割を担いながらも、施設・機材の老朽化等により十分な病院機能を果たせていない状況にある。したがって、地域住民に対する適切な保健医療サービスを提供するためには、州の総合病院の施設・機材の整備が喫緊の課題となっている。

ロイコー総合病院（診療人口約 35 万人）は、カヤー州唯一の総合病院でありシャン州南部からの患者の来訪も多いこと、更に 1950 年代に開設された病院で老朽化と医療機器の陳腐化が著しく、保健行政区の中核病院として機能が十分に確保できていないことから州の総合病院の中でも優先的に整備が必要な状況にある。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

ミャンマー国では、国家保健政策（Myanmar Health Vision 2030）や国家保健計画(2011－2016)が策定され、保健医療サービスの拡充に向けて取り組んでいる。地方医療サービスの向上は国家的な課題であり、2011 年 3 月、テイン・セイン大統領が就任演説において少数民族への支援をうたい、保健水準の向上に取り組む方針を示しており、少数民族が居住する州の総合病院の機能改善に取り組む本事業は本方針に合致している。

(3) 保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本事業は、対ミャンマー経済協力方針の「Ⅰ．国民の生活向上のための支援」に位置づけられる。本方針に関連する主な支援実績として、技術協力プロジェクト「基礎保健スタッフ強化プロジェクト」(2009 年～2014 年)、無償資金協力「中部地域医療施設整備計画」（2011 年度)、無償資金協力「病院機材整備計画」(2012 年度）等が挙げられる。

(4) 他の援助機関の対応

保健医療分野では、WHO による保健システム強化の他、EU、米国、豪国等の様々なドナーが活動しているが、当該地域で活動するドナーは限られており、本事業との重複は無い。

３．事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、カヤー州のロイコー総合病院において、施設及び機材が整備されることにより、同病院の医療サービスの向上を図り、もって地域の中核病院としての機能強化に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

カヤー州ロイコー市(州人口 27.7 万人、2011 年)

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容：

【土木工事】新本棟西棟（産婦人科部門、耳鼻咽喉科部門、物理療法部門、内科等。4334.57 ㎡）、新本棟東棟（外来部門（一般、内科、外科、眼科、精神科、腫瘍科、歯科、救急部門、病理検査部門、外科部門、手術部門、眼科部門等。4357.87 ㎡）、付属棟（渡り廊下、守衛室等。309.44 ㎡）

【機材】医療機材（X 線診断装置、分娩監視装置、麻酔器、心電計、保育器、救急車等）

2) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容：

オペレーション運用指導、日常点検表等に基づく医療機器の維持管理、機材管理台帳を用いた消耗品・交換部品調達計画に関するソフトコンポーネント

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 19.56 億円（概算協力額：（日本側）19.45 億円、（ミャンマー国側）：0.11 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2014 年 6 月～2016 年 6 月を予定（計 25 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

保健省（保健局）の管轄の下、各病院長が建設された施設・機材の運用、維持管理の責任者となる。施設の日常的な維持管理は、電気設備技師等が簡易な修繕を行い、対応できない場合には院長を通じ修繕を外注する。機材は各科の医師・看護師が日常的メンテナンスを行い、対応できない場合は院長を通じて保健省の医療管理部の管轄下にある中央医療保管部へ対応を依頼する。本事業ではソフトコンポーネントで維持管理手法に係る支援も行う。

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：本事業は、貧困層が多い少数民族居住地域の州の総合病院の機能改善を行うものであり、本事業により同地域の貧困層が、より適切な保健医療サービスを受けられるようになる。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：保健医療サービスを受ける国民の環境の改善に資する。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：特になし

(9) その他特記事項：特になし

４．外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施の前提条件：ミャンマー国の政情が悪化しない。
(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件：現場周辺で大洪水など、想定を超える環境変化や災害が発生しない。ミャンマー国政府の関連政策に大きな変更・変化がない。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1)類似案件の評価結果：カンボジア「バンティミエンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」の事後評価等での教訓として、協力対象国における恒常的な機材維持管理の予算確保、担当人員の配置、調達据付機材のスペアパーツの調達に現地の代理店との維持管理契約状況等を入念に検討して選定するよう指摘されている。
(2)本事業への教訓：本事業では、調査過程で予算及び人員確保に留意し、先方から最低限の確保に係る合意を得るとともに、現地で代理店契約が締結可能な業者の有無を確認しつつ機材計画を策定する。

６．評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。
(1) 妥当性：州の総合病院の施設及び機材を整備する案件であり、ミャンマー国民の健康・生活改善に資することから、本事業実施の意義は高い。
(2) 有効性
1) 定量的効果

指標名	基準値 （2010～2012 年）	目標値(2019 年) 【事業完成 3 年後】
外来患者数（延べ）（人）	20,706（2012）	22,777
入院患者数（人）	8,086（2010）	8,895
分娩数（人）	1,053（2011）	1,158
手術全身麻酔件数（件）	566（2010）	623
下位医療機関からの搬送数（回）	744（2012）	1,000

2) 定性的効果：カヤー州の総合病院の医療サービスが向上することにより、対応が不可能であった患者の受入が可能となる等、カヤー州の中核病院としてのレファラル体制の適正化に貢献する。また、施設建設及び機材整備により、効率的で質の高い医療サービスの提供が可能となる。

７．今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標
6.(2) 1)のとおり。
(2) 今後の評価のタイミング
・事後評価　　事業完成３年後

以　上